

施策1	安全なまちをつくる防犯の取り組み
めざす暮らしの姿	・市民一人ひとりの防犯意識の高まりと地域での防犯活動により、犯罪が減少し、安全安心なまちづくりが進んでいます。
基本方針	・市民が犯罪被害に遭わないように、「地域の安全は地域で守る」といったお互いを支え、守る意識を高めるため、防犯灯の設置や防犯パトロールの実施など、地域の自主的な防犯活動がより効果的に行えるよう支援します。 ・市内の街頭犯罪認知件数をさらに減少させるためには、市、警察、地域、事業者、関係機関、関係団体が一体となって取り組む必要があり、そのために各々が取り組む具体的な内容を定めた(仮称)やお防犯計画に基づき、お互いの連携、協力体制の強化を図ります。

【①前提条件の変化】

	これまでの変化	今後の変化の見通し
社会経済環境等の変化 (必要性が有れば記入)		

【②総合評価】

評価結果	★★☆	成果指標の結果は達成できるものの、基本方針に沿って展開できていないところがある。
施策全体の総括		<p>[結果] 平均達成率100%</p> <p>・街頭犯罪認知件数は、7罪種中6罪種が減少傾向にあり、指標は十分に達成された。しかし、自転車盗については大幅に増加しており、商業施設や駅前の駐輪場等に、盗難防止の対策を講じていく必要がある。</p> <p>[展開状況] 基本方針に沿って展開できていないところがある</p> <p>・やお防犯計画に基づき、地域が主体で進める防犯灯のLED化や防犯カメラの設置を促進することができた。今後、防犯カメラの設置台数の増加とともに、機器更新及び保守費用に対する補助の方法について検討が必要である。</p> <p>・これからも、警察との協力体制を密にし、地域主体の防犯意識の向上に取り組んでいく。</p>

具体的取り組みについての総括 ・重要な役割を果たした事業	・H26年3月に、八尾市に隣接する平野区と合同の防犯活動を行った。今後も継続した活動を行い、市をまたぐような連続した犯罪の抑止ができるようにしていきたい。また、東大阪市とも連携していく必要がある。 ・わんわんパトロール事業を開始し、犬の散歩を兼ねた防犯活動に参加してもらうことにより、今まで防犯活動に参加できなかった市民にも参加してもらうことにより、防犯活動のすそ野を広げることができた。 ・女性に対する犯罪が増加しているため、FMちやおの協力を得て、アリオ八尾で防犯ブザーの配布を行うことにより、普段防犯活動に興味をもってもらいにくい市民層にも啓発活動ができた。 ・地域による防犯カメラ設置促進と防犯灯のLED化を促してきた。また、地域安全マップについては、くらがり診断から、実際犯罪にあいやすい子どもを中心に地域とともに地域安全マップの作成促進に努めてきた。
地域と向き合う施策展開についての総括	・防犯灯の設置及び取替、防犯カメラの設置等、地域活動を推進するために、補助金を出し、地域の自主的な防犯活動を支援している。

【③後期計画の策定に向けて】

今後の課題、取組方向など	・街頭犯罪認知件数を減らすために、犯罪発生の多い場所の特性等を分析し、罪種ごとの対応策を展開していく必要がある。 ・やお防犯計画の見直しを行うとともに、各課の進捗状況を把握し、地域とともに、街頭犯罪の抑制に向けた取り組みを進める。
--------------	--

施策担当課	地域安全課
関係課	

【④見直し意向】

施策体系の見直し (必要性が有れば記入)	
-------------------------	--

役割分担の見直し (必要性が有れば記入)	
-------------------------	--

施策の成果指標の追加(変更)の必要性 (必要性が有れば記入)	
-----------------------------------	--

関連計画	「やお防犯計画」
------	----------